



認め合い、前向きに

NPO法人わの会事務局長 志鎌 哲

介護保険において、国の目はすでに2040年に向けられています。しかしその根本は制度の維持にあり「今あるお金」「今後入ってくるお金」「出てゆくお金」をどう管理するかに重点が置かれています。その結果として自己負担や保険額の増加＝国民の負担増、限られた介護報酬でも動ける事業者が生き残る＝介護労働者の負担増、そして受けられる福祉サービスが減ってゆく＝利用者の負担増、が今後もあることが予測されます。

30年前の福祉構造改革は措置から契約へ、施設から地域への流れであり「その人らしい生き方」を目指していたが、そのための受け皿となる福祉制度や社会資源が不足し、結果的に病院や施設から放り出されて自己責任が求められています。現在はそこにコロナや戦争、天変地異が重なっています。現状は厳しいと認識せざるを得ません。

わの会においても、コロナによる利用者減と物価の高騰、人手不足を受けデイサービスは苦戦しています。市内事業所の不足から相談支援事業には依頼が入るのですが、相談員の数が不足し待機してもらっている状況です。ヘルパー事業は労働市場が高騰し、人材が他社のみならず他業種に流れていく事から人材確保が難しくなっています。

しかし、研修事業を自前で持つことで学生などにヘルパーの門戸を広げられる強

みを持っています。独自事業である自立支援ネットワークも必要とする多くの声に応えていくうちに会員も増える好循環が生まれています。わの会がわの会として出来ることはあると実感します。「私たちはこれを行っている」とみんなで声を上げることで、より大きな拡がりに繋がって、未来は開けるのではないかと思います。

今期の総会においても「それぞれの事業の良さを共有する」ことが確認されました。お互いを認め合い、前向きに行くわの会でありたいと願います。

今期は人員体制の強化として、求人に入るとともに給与待遇の改善を図る事、子育て支援への取り組みが計画されています。法人全体の運営体制強化として「認定NPO※」取得に向けた取り組みも始まりました。今期総会にて12人の理事が選ばれましたが、わの会の設立当初から関わっていた佐々木節子さんが辞退されました。理事体制も変化の時を迎えています。

佐々木節子さんのあいさつ



「私は2023年3月をもって、わの会理事を辞退させて頂きました。今後は一会員としてみなさまと共に歩んでまいります。今後とも皆様のわの会へのご支援を心よりお願い申し上げます」

※認定NPOを取ると、寄付する方に控除が生まれます。わの会の活動をより多くの人に広げて支えあうことが出来ると思います。現在寄付の受付窓口の整備を行っています。住み慣れた地域で、その人らしく生きることを支援する「わの会のわ」を広げるために、皆様のご協力をお願いします。

【寄付受付窓口】 多摩信用金庫 中河原支店

普通預金 店番014 口座番号2370421 トクヒ)ワノカイリンリン



2023年4・5・6・7月～ ネットワークわの会の活動の様子

第27回府中自立支援ネットワークわの会会員総会が開かれました。今回の総会は26名の参加とハガキ委任状が76通でした。

「お弁当が美味しいので続けて欲しい」「お弁当DAYをきっかけに会員になったひとが増えている」「車で送迎してくれる団体は他にあまりない、友人を会に誘いたい」「ネットワークわの会は笑い声が多くて良い」等の発言がありました。



「お弁当が美味しいので続けて欲しい」「お弁当DAYをきっかけに会員になったひとが増えている」「車で送迎してくれる団体は他にあまりない、友人を会に誘いたい」「ネットワークわの会は笑い声が多くて良い」等の発言がありました。



会員さんのお庭の梅の実を取らせていただき、梅干しを作りました。塩漬けにした梅に赤じそを揉みこむと鮮やかに赤く染まりました。



わの会コーラスがルミエール府中で行われた“ミュージックボールin府中”に参加しました。お馴染みの「ピクニック」やドイツ語で「野薔薇」などを披露。他の出演グループの歌や生バンド演奏を聴いて皆さん楽しまれました。

国分寺のお鷹の道に出かけました。気温上昇の日でしたが、歩いた後はお鷹の道にあるカフェでアイスコーヒー・コーヒーゼリー・冷酒などでひと休み、涼しくて美味しくて。参加者の方々からは「生き返る心地がするよ」の声が上がりました。





スタッフ連携の改善に努めより 良い介護提供を目指しています

管理者 津田 久美

昨今、介護全体の流れとして介護度の軽い利用者は大規模デイへ、介護度が重くなってからりんりんのような小規模デイに移行している傾向があります。年齢が高くなり、いよいよ一人で家に居られなくなってからの介護サービス利用開始となるため、デイサービスも利用者の高齢化重症化への対応が求められています。そして認知症対応も重要な課題です。昨年は新型コロナによりできることが限られていましたが、リハビリの観点を持った楽しめるプログラムを提供してゆきます。戸外リハビリプログラム、レクリエーションプログラムの充実を図りたいと思います。

スタッフが安心して楽しく働ける環境づくりも目指していきます。フロアにおいてパートスタッフが主となって動けるようにするためのマニュアル作りや育成プログラムを作れるよう正規職員も学びを深めたい。



▲8月の壁飾り



久しぶりの自炊



先日の海の日には久しぶりに自炊を行いました。夏の暑い日には冷やし中華だろう！ということでメニューは冷やし中華でした！冷やし中華に付け合わせるの何がいいかしら？唐揚げなんていいんじゃないですか？とメニュー決め班の話し合いで全会一致で決まりました。そんな唐揚げはスタッフが担当しました。

- 8月4日の投稿からの抜粋



郷土の森新緑ツアー



4月25日(火)に郷土の森新緑ツアーを開催しました。戸外で食べるお弁当は、普段食が細かい方でも召し上がる量が増えるんです。世間話に花が咲き、楽しいお食事でした。満開のおおてまりの前でハイポーズ！！

- 4月27日の投稿からの抜粋

りんりんブログ更新中

デイサービスりんりんでは、利用者さんたちの日常の様子をブログで配信中です。月に数回更新を目指し投稿しています。是非、ご覧ください！

👉QRコードを読み込んでください。





利用者ができることを維持・継続できるように 専門性の高いサービス提供に努める

管理者 高橋 直子

あいあいの特徴は、介護度の重い方への医療的ケア対応を含めた長時間対応や、ガイドヘルプなど専門性の高いケアサービスを提供していることです。今後もこれらに重点を置いた運営を行いたいのですが、新規ヘルパーの応募が少なく入浴介助、重度訪問介護への対応が難しくなっている現状があります。

重度訪問介護従業者養成研修の実施や資格取得への支援を行い、無資格であっても、あいあいの仕事に就けるようにするとともに、仕事が始まってからはサービス担当責任者や経験年数の長いヘルパーによるスキルアップ支援を行う二段構えのヘルパー育成ルートを今年度は整備していきます。また処遇改善加算分を上乗せしてトータルでの時給を上げて待遇改善を図ります。新たな人材確保を目指します。



雪の日の府中散歩、電車ムービーを

楽しんでいきます～ブログの記事から

きっかけは、3年前に府中駅前撮った雪の動画を見せた時から。その後、訪問時にその動画を見るのが日課になりました。今年2月、府中に大雪が降り、Sさんの好きな場所を映像をとって『雪の日の府中散歩』を編集しました。

その後、Sさん宅に入っているヘルパーYさんが、動画制作にはまっている次男（小5）に声を掛けると、わざわざ長男（中2）さんと2人で電車を撮りにいって、『電車のムービー』を作ってくれました。Sさんは電車も大好き！今では、この2つの動画を見るのを楽しみに待っています。YouTubeなので、いつでも見れるのですが、何故か待っていてくれます。次なる動画、また作ってくれるかな～。



あいあいブログには、利用者さんやヘルパーのやりとりを投稿しています。こちら→



雪の日の府中散歩

電車のムービーまで9分

電車ムービー





計画なくしてサービスなし

相談員 武田 櫻

福祉サービスをその人にあてがうのではなく、その人の暮らしを支えるためにどのようなサービスがどれだけ必要かを、その人や支援者と一緒に考えて計画に落とし込むことが計画相談の仕事です。それはサービス等利用計画を通じて「ここで途切れない、次につながる支援」でありたいと思います。

開設して8年、成人も児童も、すべての障害を対象にご本人やご家族と一緒に学びながら計画相談を実施してきましたが、同じケースはひとつとしてありません。人の暮らしは多様性に満ちていて、障がいがあっても制度を活用することでそれを支えることができると感じます。計画相談はチームを作りながらの支援となるので、相談支援専門員だけでなくチーム内の様々な意見がその人の暮らしのヒントになる事も実感します。

事例



お金の使い過ぎに

どのようなアプローチが効くか



Aさんは精神疾患を持ちながら一人暮らしをしています。幻聴などで体調を崩すと生活リズムそのものが大きく崩れてしまいます。Aさんはストレスを溜めないためにショッピングを楽しみたいのですが、最近スマートフォンによる決済で簡単に買い物できてしまい、支払いも大きく膨れ上がっています。

タバコや食料、衣類に使うほかスマホのサブスクなどもあるとの事。生活費に支障をきたしてしまうため、支援者会議にてAさんは一念発起してスマホを解約することを決めて実行することが出来ました。スマートフォンを持たないことで刺激が減り、夜眠れるようになりましたが、カードによる買い物がまだできてしまい支出額は大きく減りません。

支援チームも本人も頭を抱えているその時「禁煙外来の利用はどうか」との意見が訪問看護から出されました。タバコを吸わなくなることで支出は大きく減ることが期待できます。本人も新たなチャレンジが見つかりやる気が出てきました。





介護の仕事をする最短の資格・重度訪問介護従事者養成研修 ～7月の研修から～

研修担当責任者 森田 恵美



今回の講習では、理事長が2日前に学校講演をされた大学より受講されている方もおられご縁を感じました。

当事者の方へ直接質問をぶつける機会は日常生活ではなかなかありません。受講生はとても緊張した面持ちでディスカッションを始めましたが、ご家族や担当ヘルパーの話の間うに段々と笑顔も見える様になりました。

また、文字盤の実技や、胃瘻からの注入・喀痰吸引の実演などの実践的な講義は、食い入るように見つめていました。

受講者たちの感想はー

「これから重度障害の方への介護をする緊張が出てきました」

「会話をするときには目を見て、しっかり傾

聴する。また利用者の気持ちを理解している事を伝えるためにしっかり言葉に表わし共感を示そうと思いました」
「”文字盤は先読みせずに最後まで読む”との言葉が印象に残り、思い込みや先入観で良かれと思って求めている事をしない様、気をつけたいと思いました」

一緒に働く仲間が増えたら嬉しいです

今年度、ヘルパーステーションあいあいでは重度訪問介護を担って下さるパート・アルバイトを一般・学生問わず募集しています。資格取得研修も、あいあいにも則した講義内容となっています。介護のお仕事を出来る最短の資格取得となります。この研修を広めて頂くと共にご興味ある方、是非研修だけでもご参加下さい。



申し込み
受付中

重度訪問介護従事者養成研修

第3回 2023年10月29日/11月15日(日)

第4回 2024年2月25日/3月3日(日)

※受講料、スケジュールの詳細は
内容はコチラからー



▲肢体不自由者の
介護演習



▲コミュニケーション技術



生き生き
人

「人の気持ちを考える」をモットーに！

高橋 龍哉 (デイサービスりんりん生活相談員)



大学卒業後、公共職業訓練でヘルパー2級の資格を取得。りんりんでの実習が縁でわの会に入社。仕事をしながら介護士資格を取得し今年11年目。広報誌“りんりんりん”、ブログを担当し、日々の利用者さんの様子を発信しています。



一福祉業界で仕事をするきっかけは？

大卒で、就職先がなかなか決まらなかった時、友達の影響で介護の資格取得しようと公共職業訓練校に通いました。それまで介護は、『キツイ・汚い・危険・給料安い』という印象はありませんでした。しかし勉強をしていくうちに介護の仕事に魅力を感じ仕事してみようと思うようになりました。実習は、大きな施設と小規模の施設(りんりん)に行きました。りんりんでは、利用者さんが生き生きとしていて素敵だなと思いました。

就職の際、大きな施設は、給料は割と良いが、利用者さん一人一人に寄りそうより、一日にスケジュールに沿って仕事をこなさなければならない、一方小規模施設は、利用者さん一人一人にじっくり寄り添えるのですが、給料はそんなに期待できない。どちらも一長一短でしたが、経験が全くない私は、まず一人一人の利用者さんをじっくりケアして経験を積んでいこうと思いました。

一忘れられない出来事はなんですか？

発語ができない若年性認知症の利用者さん。なかなか心を開いてくれず、体力もありスタッフで連携しケアしていましたが、ある時私に「このTシャツいいね」と言ってくれたこと。結局すぐに入院されましたがびっくりし

た出来事です。あと、実習の時から、私を孫のように接してくれる利用者さんが必ず一人はいて、仕事で落ち込むことがあっても、そんな利用者さん達に癒されて頑張ってきたことです。

一仕事で難しいと思うことは？

性格、家の事情、病状は様々な利用者さん達とのコミュニケーションの取り方は大変です。いつも「人の気持ちを考える」を心掛け、経験を積んで対応できることも多くなりましたが、いい関係ができたと思っても突然心を閉ざしたりすることもありますからね。

一最近の広報の内容がいいですね

ブログは2人で担当していますが、日常をそのままを伝えたい、楽しくやっていることをお伝えしたいと思って作っています。最初は、通常の業務が忙しく、文章を考えるのが負担でしたが最近は楽しくなってきました。

一気分転換は何ですか？

寝ること、食べることかな～。

一福祉を目指す方々に一言。

介護の仕事は思っているほど大変ではないと思います。現代の生活ではなかなか感じる事ができない、人と人の温かな、濃い交流ができます。初めて介護する方、りんりんの有償ボランティアおすすめです。いい経験になると思いますよ。